

広島市植物公園

見どころ案内

2021年4月3日
通巻第498号

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (4/3~5/5)
ボタニカルアート作品展
- ◇展示温室 (3/6~4/18)
ゼラニウム展

さくらまつり開催中 ~4/18

オキナグサ
(キンポウゲ科)
毛に覆われた赤い花がうつむき気味に咲いています。花後にできる白い綿毛に覆われた果実を翁の白髪に見立ててこの名が付けられました。

ザイフリボク (バラ科)

日本(岩手県以南)、中国原産。和名は白い花が咲く様子が采配を振る様子に似ていることから。別名のシデザクラも花の形に因みます。

オオシマザクラ (バラ科)

伊豆地方に多く見られるサクラの野生種。葉に毛が無く、香り(クマリン)が良いので桜餅の葉に使われます。

トゲオニソテツ (ザミア科)

南アフリカ原産。大きな松ぼっくりの形をした橙色の球果をつけています。

ヒスイカズラ (マメ科)

フィリピン原産。エメラルドグリーン色の長い花房がぶら下がっています。

チューリップ (ユリ科)

中央アジア~北アフリカ原産の野生種を基に園芸化したもの。名前は頭に巻くターバンに似ていることに因みます。

アイスランドポピー (ケシ科)

和名はシベリアヒナゲシ。ケシの仲間ですが、アヘン成分を含みません。ヒナゲシやオニゲシも同様。現地では越年しますが、高温多湿を嫌うので、1年草扱いです。

ハナズオウ (マメ科)

中国原産の落葉低木。葉に先立って濃い赤紫色の花を咲かせ、遠くからでもよく目立ちます。

ヤマモモ (ヤマモモ科)

日本(関東以南)~フィリピン原産。雌雄異株。雄花序は2cm~3.5cmと長く、雌花序は1cm程度と短いのが特徴。初夏に熟した果実は食べられます。

サクラ 上旬 (バラ科)

花に強い香りがあります。足元で咲いているハナニラは葉を揉むとニラのようなワイルドな香りがします。

八重桜とツツジの共演

芝生広場では、ソメイヨシノは終わりですが、続いて八重桜のなかまが見ごろを迎えています。林床で咲くコバノミツバツツジの桃色とコントラストがきれいです。

